

◇52期生クラス幹事企画イベント◇

「笑っていいとも！DOSOKAIバージョン」

今年もステージでは52期生クラス幹事が担当する「笑っていいとも！DOSOKAIバージョン」が開催されました。毎年恒例のテレフォンショッキング、今回は52期生から多くの要望があった社会科の広川智千(ともゆき)先生にお越しいただきました。

先生は平成25年4月、花園高校に着任され今年4月に大阪教育大附属へ転任されました。

先生が教師になろうと思われた時期・理由を「高校2年生の頃、映画『学校』を観て、働きながら夜間中学校に通う生徒、中学1年で不登校になった生徒、日本の社会になかなか馴染めない中国人の生徒、焼き肉屋を経営する生徒など、様々な環境にある人がそれぞれ成長していく姿に心を打たれ、教職を目指すようになりました」、「良い映画なので皆さんもぜひ観てください」と話され、また、生徒に「人を尊敬することを大切にし、敬語を使うように」と常々言っていたので、自分が生徒を“さん”付けで読んでいたエピソードや、生徒たちとなるべくお昼ご飯を一緒に食べ、ふれあいを大切にしていた事なども話していただきました。

最後に「夢は叶えるもの！叶えられないのは自分の努力が足りない。運のせいにするな。必ず夢は叶う。何でもできる！」という言葉で52期生に贈り、会場の皆さんからの大きな拍手のなかステージを後にされました。



続いて、52期生企画の大ゲーム大会です。

「クイズ Mimicry」

このゲームは、ウサギさん・キリンさんの2チームに分かれて、問題パネルに書かれたお題のジェスチャーを行い、観客がそのお題を当てることができれば、パネルに書かれた点数がチームの得点になり、勝ったチームは賞品を手に入れることができます。

くじ引きにより同窓生、在校生混合でチームが作られ、同窓生のお子さんも参加。ジェスチャーという性別・年齢を問わないゲームに、より多くの方に参加していただくことができました。

チームで相談してジェスチャーをしなければならなかったため、普段関わることの少ない同窓生、在校生が交流する良い機会にもなったと思います。

接戦の末、見事逆転勝利を飾った同窓生(16期生)・在校生(55期生)・PTAのお子さんのウサギさんチームは賞品である“ポップアップテント”をゲット！

残念ながら負けてしまったチームの皆様、次回のご参加お待ちしております！



「パンドラの氷」

9月の野外ステージは酷暑。会場の皆さんに氷を削ってもらい少しでも「涼を！！」と52期生が知恵を絞り考案した新企画『パンドラの氷！』。

ゲームは、参加者が2チームにわかれ、ステージ上の氷柱に埋め込まれた2個のカプセルを24枚のパネルに書かれている様々なアイテムを使って削り出し、カプセルの中にある課題(ミッション)を早くクリアしたチームが勝ち。

勝利チームには豪華賞品が待ってます。会場からの参加者が二つに分かれ、ゾウチームは若者が中心で男性が多く、ウサギチームは4歳の子供から50歳超級の男女など幅広く、衣装をまとった女子生徒もいてバラエティーです。

開始の笛でカプセルが埋め込まれた45キロの見事な“氷柱！”を目指しゲームスタート。舞台ソデの両サイドから一人ずつ選手が舞台上がり、パネルをめくって指定されたアイテムで20秒間BGMに合わせて氷を削ります。

ウサギチームは削り手に女性が多く4歳のお子さんとそのお母さんも頑張りますが、アイテムがネギカッターやタワシ、おろし金、ケーキカッターなどと道具にも恵まれずに大苦戦。

方や若者の多いゾウチームはドライバーなど、アイテムに恵まれ勢いよく削り大幅にリードし、ハンマーの一撃で氷が割れるハプニングがあったものの一つ目のカプセルを早々とゲット。

第1のミッション(高さを応える計算問題)「(天保山+ピリケン神殿+生駒山)÷あべのハルカス」にスマホを駆使してチーム全員で挑みますが、なかなか正解に辿りつきません。

その間にウサギチームがカプセルを取りだし、ミッション「東京タワー×特別展望台÷展望回廊+東京スカイツリー」をスルスルと解き、遅れを取り戻し追いつきます。

ゾウチームややリードで、両チーム第2のカプセルにチャレンジ！またも若さのゾウチームが二つ目のカプセルに迫ります。ここでウサギチームにターボがかかり、男性陣が氷をザクザク削ってステージ上に砕けた氷が飛び散り会場から歓声が上がります。

アツという間に二つ目のカプセルを取り出し、第2のミッション「○×問題」も一発正解し、絵にかいたような大逆転でウサギチームが勝利を収め、賞品(ゼリー1年分)をゲットしました。



◇同窓生芸術祭◇

展示の部

「展示の部」は9月9日(土)、10日(日)の両日、花園高校中央館1階教室で行われ、来場者数は延べ140名でした。

今年も入口横の廊下に旧女子制服(夏・冬合服両方)が展示され、来場者を出迎えました。

また、会場の受付前には現在の男女標準服のミニレプリカが展示され「可愛い！」との声があがっていました。

特別展示『同窓会の10周年記念総会と25周年記念式典・祝賀会』の写真展示前では多くの方が白黒写真とカラー、風景など、年代の違いに興味深く見入っておられ、また、恒例の花高川柳には足をとめて楽しげに読まれていました。

その他、トールペイント4点、模型1点、陶器4点、油絵1点、刺繍1点、書2点、墨絵3点、鳥瞰図、墨絵、拓本各1点、学校航空写真1点、鳥の写真3点など、卒業生や旧職員の先生方より出展いただいた作品が部屋いっぱい飾られていました。

また、今回初の試みとして卒業生の作品「鳥の写真」と「同窓会の野外ステージイベント風景」を「スライドショー」としてパソコン画面で見させていただきました。

今年も皆様のご来場と手作り作品をお待ちしております。詳細は本報一面の応募要領をご覧ください。



今年度も引き続き「展示の部」を実施いたします。係ではあなたの作品をお待ちしております。花高川柳とあわせてどうぞお気軽にご応募ください！。

◇在校生有志ステージ◇

在校生のステージパフォーマンスは、例年通り多くの有志グループが参加し、限られた時間の中で、精いっぱい歌やダンス、漫才など、多彩な芸を披露しました。

各グループとも緊張の面持ちでステージに登壇したものが、友人たちの声援に支えられ、終盤には喜びの表情に変わり、初々しく若さ溢れる舞台となり、終始大きな歓声に包まれていました。

